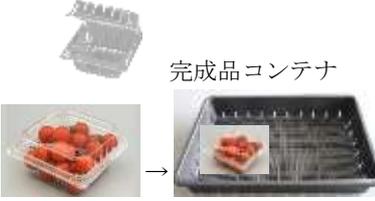
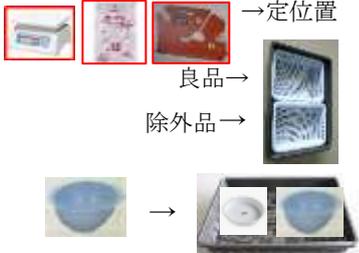


令和7年度青森県特別支援学校技能検定・発表会
 「農業分野」【選果調整】指導マニュアル
 (制限時間10分)

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
1 開始	 <p>審査員の「では始めてください。」で開始する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 審査員の呼名に対して「はい。」と返事をしてスタートラインに立ち、「□番○○学校、△△(氏名)です。始めます。」と言って一礼し、入室する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★①スタートラインで開始を伝えることができたか。 衛生的な服装で受検する。 審査員に伝わるように開始を伝える。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。 手洗いは事前に行う。 開始を伝えた時か、開始を伝えられなかった場合はスタートラインを越えた時から計測を開始する。 <p style="text-align: right;">※計測開始</p>
2 作業準備		<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみを整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面の観点から②③④⑤の順で行う。 ★②マスクの装着ができたか。 マスクの上下を正しく着ける。表裏は問わない。鼻から顎までを隙間の無いように覆う(ワイヤーを鼻の形に合わせる)。 マスクを着用できない場合は、必ず合理的配慮の申請をする。 ★③キャップの装着ができたか。 耳まで被り、髪の毛を全て覆う。 ★④手指の消毒ができたか。 ★⑤手袋の着用ができたか。 キャップや手袋を床に落とした場合は、所定のごみ箱に捨て、新しいものと取り換える。 ★⑥順番どおりに準備できたか。
3 ミニトマト (1) 選果	<p>ミニトマト(丸中玉) 除外品の選別(①緑、②黄・橙、③へた無し、④細長)</p> <p>良品 → </p> <p>除外品 → </p>	<p>選果</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品コンテナから除外品4種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑦除外品を選別することができたか。 商品コンテナには、良品250gと緑1個、黄・橙1個、へた無し1個、細長1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。4個除外した後も除外品が残っていないか必ず確認をする。 検定中にへたが取れたものも除外品として、必ず除外品のコンテナへ入れる。 作業中に床へ落としたミニトマトは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける(テーブル上は良品に戻してよい)。
(2) 計量	<p>200g</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 商品コンテナから受け皿に200~210gで計量をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑧受け皿をセットし、ゼロ設定ができたか。 必ず電源を入れてから受け皿をセットする。 ★⑨計量ができたか。(200~210g)

<p>(3) パック詰め</p>	 <p>完成品コンテナ</p>	<p>バック詰め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計量したミニトマトを1個ずつパックに詰める。 ・完成品を完成品コンテナへ入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑩丁寧にバック詰めができたか。 ・計量したミニトマトを全てバックに詰める。蓋が完全に閉まっていない場合は不可とする。 ・ヘタの向きは問わない。 ・バック詰め途中でヘタが取れた場合等は、対象のミニトマトは除外品コンテナに入れ、再度計量を行う。良品を追加しただけで計量を行わずにバック詰めした場合には、⑨を不可とする。 ・作業中に床に落としたり汚れたりしたパックは道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。 ★⑪完成品コンテナへ入れることができたか。
<p>(4) 片付け</p>	 <p>→定位置 良品→ 除外品→</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用した物品を指定位置に戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑫除外品の片付けができたか。 ★⑬良品の片付けができたか。 ・除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがミニトマトのコンテナに収まっていればよい。 ★⑭受け皿の片付けができたか。
<p>4 ジャがいも (1) 選果</p>	<p>じゃがいも (男爵) 除外品の選別 (①芽、②緑皮、③キズ)</p> <p>良品→ 除外品→</p> 	<p>選果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品コンテナから除外品3種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑮除外品を選別することができたか。 ・商品コンテナには、良品 1,300g と芽が完全に出たもの1個、皮の一部が緑のもの1個、キズがあるもの1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。3個除外した後も除外品が残っていないか必ず確認をする。 ・作業中に床へ落としたりじゃがいもは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける (テーブル上は良品に戻してよい)。
<p>(2) 計量</p>	<p>1,000g</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品コンテナからボウルに1,000~1,100gで計量をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑯ボウルをセットし、ゼロ設定ができたか。 ・必ず電源を入れてからボウルをセットする。 ★⑰計量ができたか (1,000~1,100g)
<p>(3) 袋詰め、 バッグシーラー</p>	<p>計量後の商品を袋に入れる。</p>  <p>完成品コンテナ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・袋詰め ・バッグシーラーで袋を閉じる。 ・完成品を完成品コンテナへ入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑱丁寧に袋に詰めることができたか。 ・じゃがいも同士が強くぶつからないように優しく入れる。 ★⑲バッグシーラーをかけることができたか。 ・隙間の無いように絞って、バッグシーラーをかける (根元をバッグシーラーに通していれば、多少の隙間はよい)。 ・バッグシーラーのやり直しは可とする。やり直しで生じたテープ等は道具入れに入れる。 ・作業中に床に落としたり汚れたりした袋は道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。 ★⑳完成品コンテナへ入れることができたか。

<p>(4)片付け</p>	 <p>→定位置 良品→ 除外品→</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用した物品を指定の位置に戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ★⑳除外品の片付けができたか。 ★㉑良品の片付けができたか。 ・除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがじゃがいものコンテナに収まっていればよい。 ★㉒ボウルの片付けができたか。
<p>5 終了準備</p>	<p>マスク キャップ ウェットティッシュ 手袋</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェットティッシュで作業台を拭く。 ・手袋用、マスク・キャップ・ウェットティッシュ用に区別して捨てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★㉓ウェットティッシュで作業台を拭くことができたか。 ・作業台のはかり(赤いライン)より左側を拭き残しが無いように拭く(縦拭き、横拭きは問わない。右側は拭く必要はない)。ウェットティッシュは複数枚使用してもよい。 ・はかりは動かさない(故障・破損防止のため)。 ★㉔手袋、マスク、キャップ、ウェットティッシュを所定の容器に捨てることができたか。
<p>6 終了</p>	 <p>スタートラインに立ち、姿勢を正す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の場所に立つ。「終わりました。」と言って終了を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ★㉕スタートラインで終わりの報告ができたか。 ・審査員に伝わるように報告をする。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。 ・終わりの報告を伝えた時か、報告がない場合はスタートラインを越えた時に計測を終了する。 <p style="text-align: right;">※計測終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ★㉖時間内に終了することができたか。

※困ったときに、挙手や声掛けで係員を呼ぶことができる。ただし、係員は次の工程を教えることはしない。

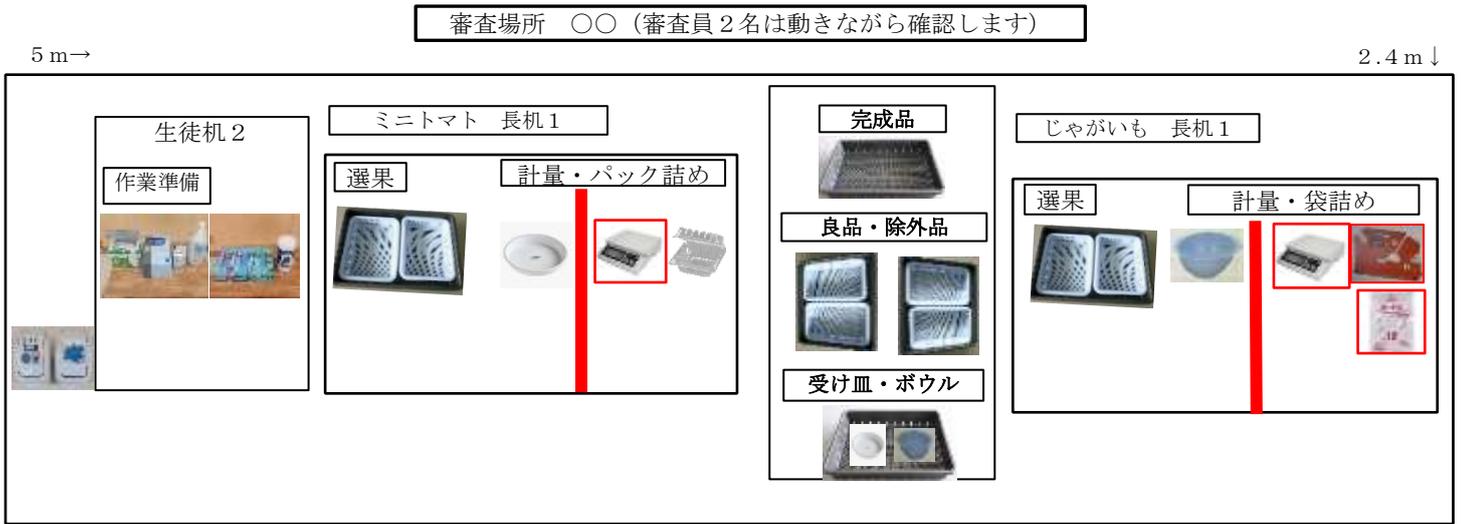
※作業項目ごと(1開始、2作業準備、3ミニトマト、4じゃがいも、5終了準備、6終了)に可・不可の判断をする。次の作業項目に移って道具等に触れた後で、前の作業項目に戻って正しくやり直しても不可とする。

※10分経過した時点で検定終了とする。以降の評価内容(★)は不可として扱う。

※待機中は他生徒の検定が見える位置で待機する。他生徒の検定を見ることで影響がある場合は、午前又は午後の最初に受検したり、検定場所に背を向けて座ったりすることも可能とする。その場合、必ず合理的配慮の申請をすること。

※各自の待機時間を短くするため、次者の準備が出来次第、時間を空けずに進行する。そのため、タイムテーブルの時間よりも早くなることもある。

【会場図】 ※詳細な配置は伝達講習会で明示・説明する。



スタートライン (検定長机から2m離す)

受検者待機場所

椅子5 ○○○○○ (検定長机から3m離す)